

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成25年1月1日発行 季刊
発行責任者: 根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第22号

新年、おめでとうございます。ばんよしはるです。皆様、新年をどのように迎えられましたでしょうか。

私は家族と共に新年を迎え、感謝の気持ちになることができました。

国の方では昨年末の総選挙で政権交代がなされました。

是非、安部総理には、一つずつ目の前の課題を克服していただき、総理自身がやり直しができることを国民の前で実践して欲しいと思います。

今後は、政権が変わったことによる、地方行政に対する国の方針を注視していかなければいけません。

また、斑鳩町を取り巻く環境は急激に変わろうとしております。

このところ、決算で黒字が続いておりますが、社会保障費が急激に増加しており、将来の見通しは決して安泰ではございません。

斑鳩町の未来は、行政の事業について「選択と集中」を行い、いかに効率よく運営できるかに係っています。

今年も財政の無駄を省き、未来に繋がるお金の使い道を考え、次の世代にツケを回さないように財政運営をチェックしていくことが大切という気持ちを忘れずに頑張ります。

昨年末には、議会改革の一貫として、議員が長期欠席せざるをえない場合に報酬を欠席期間により減額することを全員一致で決定いたしました。

その他では、議員定数は何人が適正に運営できるのか、委員会等の組織を効率よくするにはどのようにすればよいのか、現在検討しております。

本年の新しいテーマとしては・・・

昨年、総務常任委員会で、生駒市と三郷町にコミュニティバス及びデマンドタクシーについて視察してまいりました。

まず平成25年度では、斑鳩町内を走っている、コミュニティバスを見直す作業が始まります。

また、コミュニティバスと別に本年4月スタートを目標として、斑鳩町社会福祉協議会の事業として福祉バスを町内で走らせることも検討されていると議会に報告がありました。

そこで、一番大切なことは、今のシステムより、もっと使いやすい住民の移動手段にしなければいけないことです。

これからも、いろいろな審議の結果を随時ご報告させていただきます。

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。